

世界に平和を・戦争の基地はいらない

羽村平和委員会発・横田基地ミニ情報 2014.8.20 No. 204-1 連絡先 FAX 042-555-1911



オスプレイまた飛来 の通告に抗議集会

オスプレイが、「人員輸送で、8月9日飛来し、10日離陸する可能性がある」と、8月5日17時過ぎ、北関東防衛局から横田基地周辺自治体に連絡がありました。

8月9日、福生福東トモダチ公園で、抗議集会を行い、約100名が参加しました。オスプレイは天候が悪く飛来しない、と前日分かりましたが集会では、オスプレイ飛来通告に抗議しました。9日は土曜日でしたが、2時30分頃、爆音とともにC-17大型輸送機が爆音を轟かせながら、木の間に現れました。間近に見るC-17は、怖いほど大きい。

無届けで3000メートル上空から降下訓練

7月には、1名のパラシュート降下訓練でも通告してきた米軍が、8月5日から7日まで、無届けでパラシュート降下訓練をしました。5日は3000m上空から4名、6日は300mから6名、7日は3000m上空から6名と8名です。3日間で延24名でした。3000m上空からの降下は初めてです。

延250名の人員降下訓練の情報が！

8月11日(月)から15日(金)まで横田基地で、米兵延250名がパラシュート降下訓練をすることが8月8日夕方、分かりました。横田でパラシュート訓練が常態化していますが、250名とは大規模です。降下訓練は、3000メートル上空からが主目的だったようで、雨が降っていなくても、雲が厚いと訓練は取りやめたり高度を下げていました。

11日は3000メートルから4回で20名が降下、13日は300メートルから4回で25名と3000メートルから2回で22名で計47名が降下、14日は1600メートルから2回で12名降下です。11日以降確認されたのは、延79名でした。部隊は海兵隊です。

第65回横田座り込み行動 良い天気でした

8月17日は、お盆の時期でもありましたが、約90名の参加でした。オスプレイの飛来や大規模なパラシュート訓練、航空自衛隊の増強など、日米政府の「戦争する国」づくりの動きが強まっています。地元福生の方々が、おいしいスイカやキュウリを用意してくれました。元気モリモリです。



オスプレイ 政府は安全というが これまで38名が死亡 (No. 204-1 の裏面)

以下に、オスプレイの死亡事故を記します。発生年月日と死亡者数と事故の概要です。

1992. 7.20	7人	米バージニア州、着陸直前に右エンジンから出火。基地近くの川に転落
2000. 4. 8	19人	米アリゾナ州、着陸のため降下中、コントロールを失って墜落
2000.12.11	4人	米ノースカロライナ州、器機の不具合により機体が操縦不能になり墜落
2010. 4. 9	4人	アフガニスタン、着陸失敗、横転。エンジン出力の低下?
2011. 7. 7	1人	アフガニスタン、離陸中、後方ドアが開いて兵士が落下
2012. 4.11	2人	アフリカ・モロッコ、離陸直後、旋回中に追い風を受けて墜落
2014. 5.19	1人	米ノースカロライナ州、訓練中、開いていた後方ドアから兵士が落下

死亡事故の他にも、1991年：試作機が離陸時に制御不能になり転覆・墜落、2007年：飛行中にエンジンから出火し緊急着陸、2009年：訓練で離陸直後に圧縮機が失速し左エンジン故障で緊急着陸、2011年：離陸直後に衝突回避で急ブレーキをかけ右プロペラが破損、2012年：編隊飛行中に先行機の後方乱気流に巻き込まれて後方機が墜落、2013年：訓練で着陸時に地表が燃えて胴体に引火し機体が炎上、2013年：訓練中に着陸に失敗し機体が炎上、2014年：沖縄・普天間基地で落雷による破損、など「クラスA」の事故が8件発生しています。

パラシュート降下訓練 自衛隊で死者が出ていた

「2007年2月5日、午前10時半ごろ、陸上自衛隊東富士演習場で、陸自第1空てい団（千葉県船橋市）所属の3等陸曹（24）が落下傘で地上に降下訓練中、傘が正常に開かず地上に落下。3曹は全身を強く打ち死亡した。陸自によると、同種の訓練中に隊員が死亡したのは72年以来で、4人目。」との記事がありました。着地点から外れることも危険ですが、降下そのものも危険です。

政府は オスプレイ17機、F35戦闘機28機、無人機3機の購入止めよ！

政府は2018年度までに、オスプレイを17機、F35戦闘機を28機、無人機を3機導入する計画（中期防衛力整備計画）ですが、問題だらけの米軍機です。導入は止めるべきです。

オスプレイ：欠陥機です。エンジン停止時に安全に着陸するために不可欠な「自動回転（オートローテーション）」機能がありません。墜落しやすいのです。

F35戦闘機：米国防総省は7月3日、開発中のステルス戦闘機F35について、全機の飛行中止を命じたと発表しました。6月に起きた出火事故を受けてエンジンを検査するためです。15日には、条件付きで飛行再開を許可したと発表しました。英国の航空ショーへの参加（当初、4機を派遣予定）は見送りしました。飛行中止をたびたび起こし、費用がかさんでいるF35です。

米軍無人機：米紙ワシントン・ポスト（電子版）は6月20日、2001年9月から昨年未までに、世界で起きた米軍無人機の墜落や衝突などの重大事故が少なくとも418件に上ると報じました。

米軍三沢基地（青森県三沢市）にも配備された無人偵察機グローバルホークの墜落事故は5件ありました。いずれも死者は確認されていないものの、飛行中の輸送機への衝突のほか、今年4月には米ペンシルベニア州で小学校の運動場のすぐ近くに墜落する事故も起きており、同紙は無人機の安全性に警鐘を鳴らしています。

418件のうち194件が被害額200万ドル（約2億円）以上の最も深刻な「クラスA」の分類。アフガニスタン、イラクの2カ国で計108件とクラスAの半数以上を占め、米国内は47件。国名が公開されていない事故が18件あったそうです。